

令和3年度 第2回学校評議員会報告

[日 時] 令和4年2月22日(火) 16:00~17:00

[場 所] 本校会議室

[出席者] 学校評議員 4名

本校職員 10名

計 14名

1 目 的 今年度の学校概況及び運営方針、運営方針に基づいた各分掌・学科の教育指導計画等の実施内容及び反省等について報告する。そして来年度に向けた計画立案の際のご助言等を学校評議員の方々から頂くとともに、地域に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進する学校活性化のための方策について意見を集め、本校教育の充実・発展に寄与する。

2 次第及び内容

(1) 校長挨拶(要旨)

新型コロナウイルス感染症の影響により「新たな日常」のもと学校活動を行ってきた。幸い本校では大きな影響がなく現在まで推移している。来週は卒業式、翌週には高校入試を控えている。今年度の取り組み等についてまとめをしていただき、忌憚のないご意見をいただければと思っている。

(2) 学校概況説明

ア 令和3年度学校経営計画と評価について【副校長】

①学校経営計画

- ・数値目標を設定し、第1回目の学校評議員会で校長より提示している。
- ・目標達成のため、1年間全教職員が一丸となり業務を遂行してきた。

②評価について

- ・達成状況評価を「○」「×」から4段階(「4」~「1」)で評価した。
- ・基礎力確認調査(高2-4月実施)正答率が全科目で昨年度より上昇した。
- ・長欠者は若干名いましたが、57.3%の生徒が皆勤を維持している。
- ・いじめ案件は2件発生した。本校では微細な事象も見逃さずにいじめ案件と認知し、県に報告している。
- ・自己肯定感が高い生徒が多い。学校に満足している生徒も多い。
- ・進路決定はあと1名。2月下旬の国公立大学受験に合格すれば、全員進路達成の状況である。
- ・学校評価アンケート保護者回答率が大幅に向上した(R2(86.9%)→R3(98.2%))。

イ 令和3年度学校状況報告(学校評価とアンケート結果)について【副校長】

- ・昨年度よりも半分の項目で、アンケート結果が高値で推移した。我々の教育活動が保護者に認められたと考えたい。この結果に甘えることなく学校発展のために尽力したい。
- ・「学校行事の適切さ」の項目で昨年度より低値な評価となった。昨年度より新型コロナウイルス感染症の予防の観点から多くの行事を中止や規模縮小での開催にせざるを得なかった。これらに対する不満等もあったに違いない。今後は内容を精査し改善等を図りたい。
- ・学習時間がまだまだ少ない(保護者、職員より)。

- ・毎月学校通信を発行できた。
- ・生徒の活躍が各種報道（新聞やTV等）でも取り上げられた。
- ・危険物取扱者試験では最上級の資格を2名取得できた。

ウ 令和3年度各部の取り組み状況報告

(ア) 教務部【教務主任】

- ・登校不安の生徒にオンラインを活用した。
- ・互見授業を実施して全職員が授業を見せた。来年度は視点を定めて校内授業研究会を行う。
- ・ICTを活用した授業は一定の評価を得ている。
- ・遠隔授業や通級指導等がうまくスムーズに進むように方法を考える。
- ・中学生体験入学を2回実施した。
- ・ホームページアクセス数は目標値を超えた。
- ・来年度に向けて、生徒に学習習慣を身に付けさせるため、朝学習にしっかり取り組めるように後期末考査後、職員朝会をなくした。
- ・従来の出席簿を廃止して、電子出席簿を活用した。
- ・朝学習、家庭学習、授業をうまくつなげながら（「点」から「線」へ）組織として取り組む。

(イ) 生徒保健厚生部【生徒指導主事】

①生徒指導

- ・特別指導が2件発生した。
- ・来年度からスカートと夏用ポロシャツを導入する。
- ・スマホは各クラスで朝SHRに回収し、放課後まで担任が預かっている。
- ・スマホの使用による違反をしている生徒を見つけたらその場で指導を行う。

②保健指導

- ・治療勧告を行っているが、コロナによる受診控えが増えているため、呼びかけを継続して行う。
- ・各清掃区域で消毒活動を生徒、職員で実施した。
- ・各種行事は職員と生徒が話合っ、コロナの感染予防対策をしっかりやって実施した。
- ・来年度は4月の早い段階で情報モラル講座を実施する予定。
- ・生徒の呼びかけで、海岸清掃を行った。
- ・スクールカウンセラーとの面談は有効であった。
- ・来年度から導入される通級指導に関わる研修が行われた（2回）。

(ウ) 進路指導部【進路指導主事】

- ・生徒の有効な進路選択として、各学年でガイダンス、事業所・学校見学会、インターンシップ、セミナー、職場見学を実施した。
- ・キャリアパスポートの継続実施。（年度の振り返り）
- ・来年度から海洋開発科もスコラ手帳を活用する。
- ・高校の魅力化促進事業を「総合的な探究の時間」を中心に実施。特に普通科2年が取り組んだ地域探究学習の成果発表会を町内中学校で実施した。
- ・今年度は就職希望者が全員内定を頂き、就職率が100%となった。
- ・来年度は全校で基礎力診断テストに取り組む。
- ・基礎力診断テストを受験する前に事前学習を行い家庭学習につなげる。
- ・コロナが収まれば企業・大学に訪問したい。
- ・セルフチェックシートの活用は有効であった。
- ・3年生は、全員が1つ以上の資格を取得した。
- ・今年度も就職率100%を達成した。
- ・キャリアパスポートを活用している。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で多少、求人数は減った。
- ・危険物取扱者試験「甲種合格：2名」「乙種全類合格：3名」の生徒がいる。

(エ) 海洋開発科【海洋開発科主任】

- ・今後も入学生30名の確保をめざす。
- ・PR活動はコロナが落ち着いたら実施したい。
- ・洋野町の支援により東日本の中学校に学校案内とともにPRポスター1,000件近く郵送・配布して頂いた。
- ・課題研究・実習等を利用して、地域貢献活動（ベンチを製作し寄贈、ヒトデ駆除等）を実施した。
- ・3年生は資格取得を大変頑張った。
- ・3年以内の離職率は、横ばいで良好と考えている。
- ・仕事内容や会社の特徴、仕事のやりがいについて知る、機会を増やす。

(3) 質疑・応答（学校評議員名をA、B、C、Dとした）

A 様

(質問) 種高生はしっかり挨拶ができて好感を持っている。基礎力確認調査正答率が向上した一方で、意識調査「授業がわかる」と回答している生徒は減少している。この原因はどのように考えるか。

(応答) 学力と自己評価は一致しないということ、相関関係があるかどうかは分からない。

B 様

(質問) とっても健闘されている。生徒・保護者からの高評価を得ているから良いのでは。学校が好きという生徒が多い。資格取得も頑張っているので家庭学習の時間が少ないのは仕方ないと思われる（資格取得に係る学習も家庭学習として捉えてよいのでは）。保護者からの学校評価アンケートの回収率もすごい。回答内容も高値であるが、このように推移した理由は何でしょう。

(応答) 以前よりも職員がきめ細かい生徒指導をしている結果だと思われる。今後も維持できるようにやっていきたい。

C 様

(質問) 平内駅までの通学路清掃を活発に行っている姿を拝見してきた。婦人会で通学路周辺の花を植えています。生徒に手伝わせても問題はないか。

(応答) ボランティア活動が好きな生徒が多いのでぜひ手伝わせて下さい。

(質問) いじめをどのようにして把握しているのか。

(応答) 日頃の生徒への声掛け、クラスでの様子の確認、校長面談、学校生活アンケートを活用して早期発見に努めています。

D 様

(質問) 以前（数年前に息子が生徒のとき）進学書類提出が遅くなりそうになり冷や汗をかいた。締切前に再度願書を請求するよう話されたこともあった。なぜそのようなことになるのか教えて下さい。

(応答) 進学願書は受験者（生徒）本人が取り寄せるものとして指導している。学校としては生徒・学校（担任）が送付物を作成し提出期日に間に合うように指導している。生徒の不利益にならない指導をしている。今後も継続していきたい。

(4) 提言(要望)

- A 様 「生きる力」を身に付ける指導をぜひお願いいたします。
- B 様 ぜひ大野高校と連携し、「地元の子」を育てていただきたい。
- C 様 今のまま頑張って欲しい。
- D 様 今の状態を継続して欲しい。

(5) その他

校長より

本校は今年度で学校評議員会はなくなり、令和4年度より学校運営協議会を開設することとなっております。そのことに伴い、学校評議員の方々の任務は今年度で終わりになります。評議員のみなさまは今まで本校のためにご尽力いただきまして本当にありがとうございました。今後も本校の「応援団」となって見守り続けていただければと思っています。